

血液塗抹



優れた染色品質への鍵

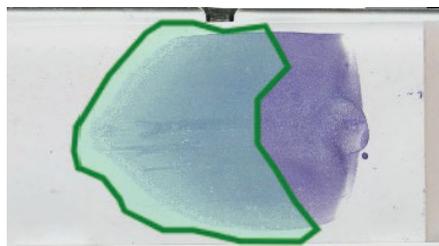
以下に血液塗抹サンプルの簡単な調製手順を示します。より詳細な手順は、「ベトスキャン イマジストAI血液塗抹ユーザーガイド」でご覧いただけます

<https://files.helpdocs.io/la8tfkiodj/other/1657821731340/vetscan-imagyst-blood-smear-user-guideglobal.pdf>



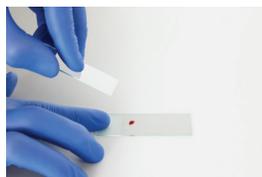
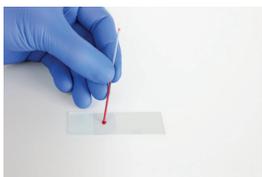
提出が必要な主な構成要素

- 染色済みの血液塗抹サンプル
- CBCデータ



スキャン領域には、フェザードエッジ、単層、および少なくとも部位を一部分含まなければなりません。

血液塗抹サンプルの調製



スライドの調製

- EDTAで抗凝固処理血液を混合します
- マイクロヘマトクリットキャピラリーチューブまたは精度の良いピペットを用いて、混合された直後のチューブから血液を採取し、ラベル付けされたスライドに静かに滴下します
- チューブをスライドに当てないように注意してください
- この血液の移送に木製のスティックを使用しないでください - 血小板と白血球が付着してしまう可能性があります

スプレッター スライドを置く

- スプレッタースライドをラベル付きのスライドの上の血液滴の前に置き、30°~45°の角度で保持します

血液を展開する

- スプレッターブライドが血液的に接触するところまで引きます
- 毛細管現象により、サンプルはスライドの端に向かって広がります
- 血液がスライドの端まで広がらないようにします

展開を完了する

- スライドの端に血液が到達する前に、滑らかに安定した流れる動きで、スプレッタースライドを下部スライドに広がる血液滴サンプルから離します。一連の動きの間、角度を維持し、下向きの圧力を加えないようにします。これにより、スライドの約2分の1~3分の2を覆う均一な血液のフィルムが生成されます
- 風乾によるアーチファクトを避けるため、スライドを風乾しします（スライドを熱を加えないでください）

スライドを確認する

- 血液塗抹サンプルが容易で来たら、目視でスライドの1/2~2/3が覆われていることを確認します
- 塗抹は指紋のような形状で、フェザードエッジが含まれていないはずです

